

上高野小学校運動会
応援合戦!



SATTE GIKAI

Vol.119

2026年
6月定例会

お知らせ

\ 今号から /

紙面が**リニューアル**しました！



ページも左とじ、左開きになりました

エアコン・冷蔵庫の買い換えに

5万円!



国の交付金を活用した事業です

省エネ家電買換促進補助事業

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金重点事業

2013万5千円



対象期間

8月1日(土)～令和9年2月26日(金)

申請期間

9月1日(火)～令和9年2月26日(金)

※予算の上限に達し次第終了します。

問合せ：環境課 ☎(48)0331



詳細はこちら!



イメージ写真

省エネ性能の高い家電(エアコン・冷蔵庫)に買い換える市民に5万円を限度に補助金を交付します。

●補助金

5万円×400世帯＝2千万円

●その他事務費(郵送代・振込手数料) 13万5千円

●エアコンは、目標年度2027年度 ★3以上 省エネ基準100%

●冷蔵庫は、目標年度2021年度 ★3以上 省エネ基準100%

議会広報編集委員会行政視察

先進地を視察研修して本紙面を刷新しました

令和8年4月21日・22日
議会広報編集委員会では、
議会広報における先進自治
体である、長野県下諏訪町、
御代田町に視察研修をして、
市民が読んでいただける広
報誌について学ばせていた
だきました。



市民の誰もが安心して暮らせるまちづくりへ

手話への理解を広げるために 手話言語条例を可決

施行日
令和8年
7月1日から
スタート

なぜ条例を制定するの？



- 手話は、ろう者や聴覚障がいのある方にとって、意思を伝える大切な言語です。
- 条例で、手話への理解を広げ、普及や発展を進めます。
- 誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指します。

主な質疑内容と答弁

1 市民への理解促進



【質 疑】

市民にどのように周知していくのか。

【答 弁】

広報紙やパンフレットの配布、イベントでの啓発、職員研修を通じて理解を深めます。

2 学校での学習



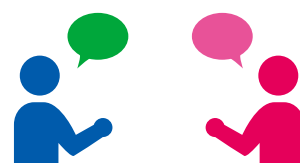
【質 疑】

学校の授業ではどのように取り組んでいくのか。

【答 弁】

手話体験や講師の派遣などを通じて、子どもたちが自然に学べる環境をつくれます。

3 今後の取組



【質 疑】

ろう者や関係団体との関わり方はどうするのか。

【答 弁】

意見交換や協議の場を定期的に設け、当事者の声を施策に反映できるよう努めます。

本会議での賛成討論

市民の幸せをつくる会 坂本達夫 議員

手話は、ろう者の皆さんにとって意思を伝えるだけでなく、学び、人と心を通わせ、文化を育むための大切な言語です。

この条例を契機に、市民や学校、行政などが手話への理解を深め、誰もが安心して暮らせる地域づくりが進むことを期待しています。

障がいの有無にかかわらず、お互いを尊重し支え合いながら、誰もが安心して暮らせる地域社会を築く第一歩となる条例であることから賛成しました。



手話団体の皆さんが議会を訪問

議員が注目の議案！



詳しくは議会HPへ

議案第36号 東小中学校校舎・増築について 1億9200万円

市では、令和9年4月に「権現堂川小学校」、「吉田小学校」、「八代小学校」及び「東中学校」の4校を再編し、市内で初めての「義務教育学校」である「東小中学校」を現在の東中学校の場所に開校する準備を進めています。

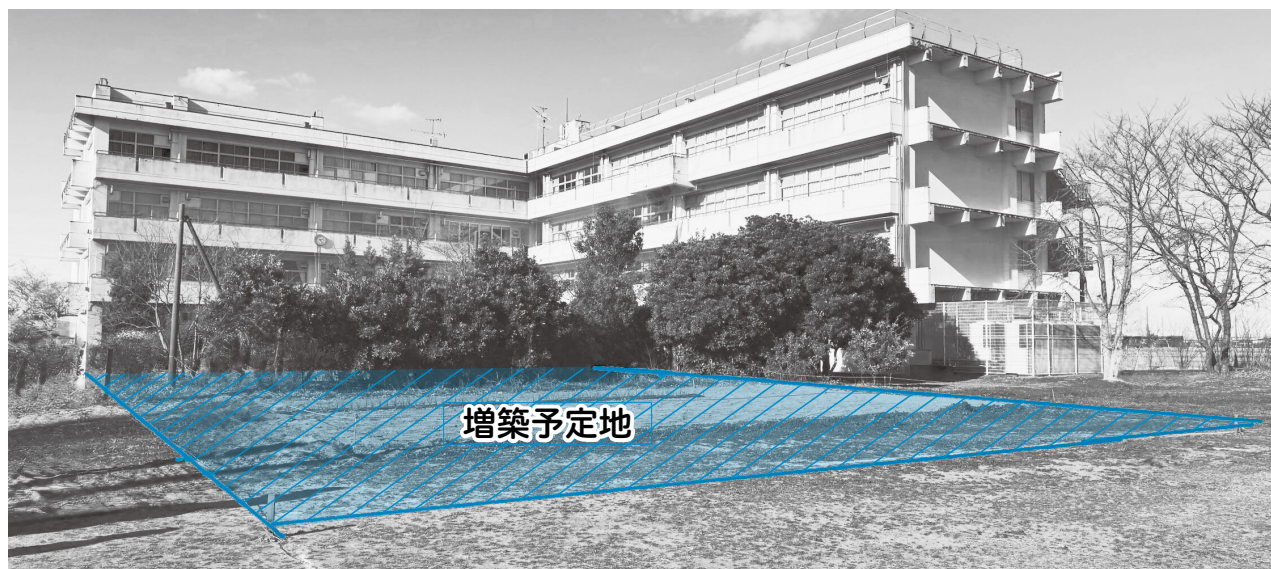
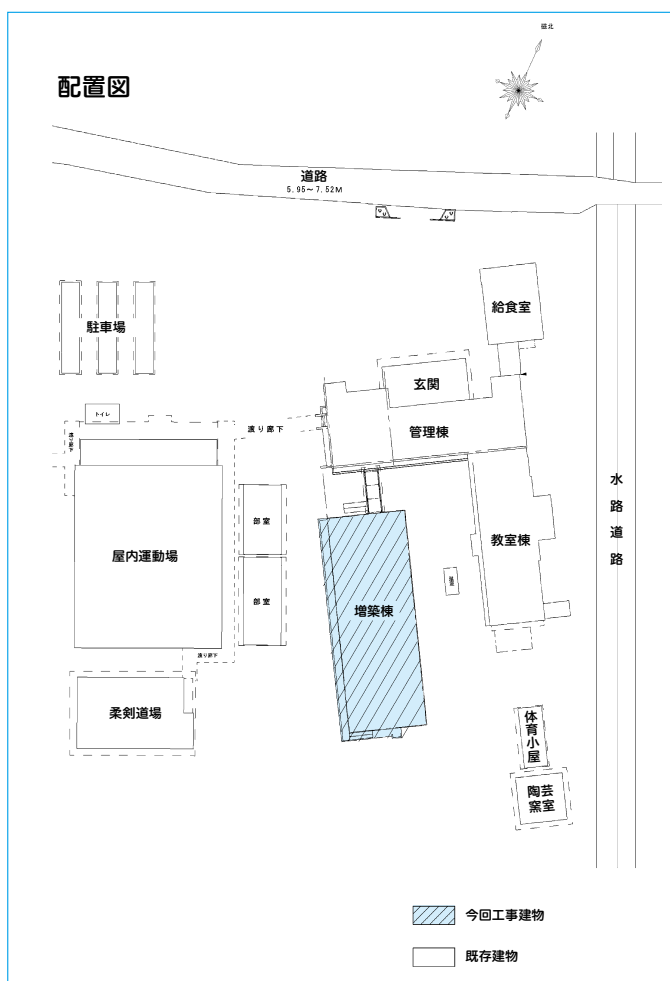
教室、保健室、低学年図書館コーナー、多目的室、放課後児童クラブ室等を設置する増築校舎を建築する工事の契約です。

既存校舎大規模改築工事も進められています。

昨年度は、体育館のエアコン設置、屋根・外壁・アリーナ床改修が完了しています。

また、現在の「さかえ小学校」を「上高野小学校」に統合することも決まっており、その準備も進められています。

教育環境が充実し、児童生徒がより良い学校生活が送れるよう期待しています。



議案第35号

上高野地区土地改良事業区域内の都市計画道路杉戸幸手栗橋線を整備するにあたり、市道路線として認定するため

農業生産法人により、農地約30haにおいて、土地改良事業を実施し、その事業区域の7割において温室による施設園芸野菜の生産を行う事業です。

現在、土地改良事業の認可に向けた地権者との合意書締結が進められています。



議案第28号

証明書のコンビニ交付手数料を 10 円にする条例改正

マイナンバーカードを活用した証明書のコンビニ交付について、令和8年8月1日から令和9年3月31日までの期間限定で、交付手数料を10円に引き下げる議案です。

住民票や印鑑登録証明書などを、窓口に行かずコンビニで取得できるため、市民の利便性向上につながります。

あわせて、窓口混雑の緩和や行政手続きの効率化も期待されます。

コンビニ証明書
期間限定で10円



埼玉県東部消防組合 久喜署に

「1秒でも早く」を
最新技術で支える



高機能消防指令センター

4月より運用開始



幸手市、加須市、久喜市、白岡市、宮代町、杉戸町の119番通報は、すべて本センターで受付けています。新センターの統合型位置情報通知装置や119番通報を受理する司令台の拡張などにより、

- 現場到着時間の短縮
- 大規模災害対応力
などが強化されました。

水防訓練

利根川栗橋流域水防事務組合主催により、久喜市・五霞町・幸手市・杉戸町・春日部市・各消防関係機関・(一社)関東地域づくり協会の協力のもと、令和8年6月1日午前8時30分、権現堂公園（1号公園）にて、構成市町水防団約330名集結し、水防活動に必要な知識と水防技術の習得、情報伝達、資材管理確認、迅速化を徹底させるとともに、

① 土のうづくり

② 1. 月の輪工 2. 積み土のう工 3. シート張り工

を行い、組合水防体制の充実強化を目的に水防訓練を実施しました。



人事案件 固定資産評価員

春田 松司 氏 を選任することに同意しました。



一 般 質 問

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

今定例会では、13人の議員が6月2日、3日、4日に一般質問を行いました。
質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

芦 葉 弘 志 議 員

- 県の保育施策について
- おむつのサブスクについて
- 公共交通について

高 野 優 一 議 員

- マイナンバーカード交付の受取方法について
- 乳児紙おむつ支給事業について
- 外国人への事前勉強会実施について

宮 澤 大 地 議 員

- 活気あるまちづくりに向けた幸手市の若者支援について
- 幸手駅西口土地区画整理事業におけるにぎわい創出について

坂 本 達 夫 議 員

- 財政調整基金と標準財政規模について
- 旧香日向小学校の賃貸借契約について
- 庁舎・公民館等に設置されている自動販売機について
- 権現堂第2公園に「なんじゃもんじゃ」の木を植えて、桜の後にも楽しめる観光スポットにしてはどうか、について
- 幸手市さくらマラソンについて

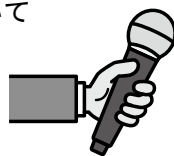
松 田 雅 代 議 員

- 令和9年1月より市が運行する新公共交通について
- 埼玉県による倉松川改修に伴う志手橋改修設計の進捗について
- 市民の声より 有料スポーツ施設を有する市内の公園におけるAEDの設置について

小 林 英 雄 議 員

- 市内農地の活用について
- 廃棄物処理について

皆さんは
どのテーマに
関心が
ありますか？



小 泉 圭 司 議 員

- 公共施設の利用及び廃校後の施設活用について
- 公共交通再編とAIデマンド交通について
- 包括連携協定の活用状況と成果検証について
- 地域包括ケアシステム「幸手モデル」と孤独・孤立対策について

小 河 原 浩 和 議 員

- 外国人との共生社会に向けて、市の体制について

四 本 奈 緒 美 議 員

- 「生命(いのち)の安全教育」「包括的性教育」「ユースクリニック」の取り組みについて
- 災害時における妊産婦・乳幼児の「母子専用避難所」の整備について

大 平 泰 二 議 員

- 水道料金問題
- アスベスト飛散防止対策について
- アフタースクールの継続について
- 駅西口土地区画整理見直し案について
- 幸手市議会広報委員会の視察に関する予算について

枝 久 保 喜 八 郎 議 員

- アフタースクールについて
- 市民が歓迎し、街が活性化する施策作りについて
- 婚活事業について
- 神扇地区にある市の管理する施設の今後について
- 県営権現堂第2公園について
- 都市計画税について
- 昨今、目に余る少年犯罪について

本 田 謡 子 議 員

- 埼玉東部消防局 幸手消防署について
- 神明内地区の内水について
- 防災について

木 村 治 夫 議 員

- 歩行者への道路安全対策について

6月定例会 会期日程

6月1日(本会議)	・開会 ・議事日程の報告 ・会議録署名議員の指名 ・会期の決定 ・報告事項 ・市長提出議案一括上程、提案理由説明
6月2日(本会議)	・議事日程の報告 ・市政に対する一般質問
6月3日(本会議)	・議事日程の報告 ・市政に対する一般質問
6月4日(本会議)	・議事日程の報告 ・市政に対する一般質問
6月10日(本会議)	・議事日程の報告 ・市政に対する一般質問
6月11日(委員会)	・議案に対する質疑 ・議案の委員会付託
6月12日(委員会)	・総務常任委員会
6月15日(委員会)	・文教厚生常任委員会
6月19日(本会議)	・建設経済常任委員会 ・議事日程の報告 ・委員長報告、質疑、討論、採決 ・閉会

6月定例会

傍 聴 者

30人の方が傍聴されました。

議会インターネット中継の アクセス件数

インターネットを利用した議会中継
(ライブ及び録画)を行っております。

4月▶**77件** 5月▶**145件** 6月▶**2,642件**

の方が視聴されました。

配信、動画サイトは
コチラ→



一般質問

保育士施策

あしば ひろし
芦葉 弘志



**おむつのサブスク
実施は**
答弁 導入に向けて前向きに
検討を進める

問 保育士の奨学金返済の支援を行う市への補助として、年額18万円最長5年の補助があるが見解は。

健康福祉部長 現在本市では、奨学金返済支援事業は実施していませんが、別に保育士の確保定着を図る事業として、新卒保育士就職支援事業を実施しています。

おむつのサブスク

問 保育業務支援システムと連携した紙おむつのサブスク導入について、本市ではどのように考えているのか。

健康福祉部長 本サービスは、市の財政上の負担を伴うことなく導入できることに加え、利用につきましても保護者が任意で選択できる仕組みとなっております。保護者負担の軽減の観点か

らもメリットがあるものと考え、導入に向けて前向きに検討を進めます。

公共交通について

問 香日向地域にある看護学校との連携を協議中とかがっているが、連携の状況は。

市民生活部長 看護学校ではコミュニティセンター前から、幸手駅、東鷲宮駅、それぞれの駅に向けて、送迎バスを運行しています。この送迎バスについて、

学生が乗車していない
回送車両に
住民が乗車
することが
出来ないか
協議してい
ます。



子育て支援

こうの ゆういち
高野 優一



**乳児紙おむつ
支給事業**
答弁 子育て応援ハッピー
ギフトで対応

子ども・子育て支援事業計画に『乳児紙おむつ支給事業』として位置づけていたが実施に至らなかった。

問 実施を見送った具体的な理由、さらに令和5年度に要綱を廃止する判断に至るまでの検討経緯について伺う。

健康福祉部長 未就学児に幸手産米を支給する「ハッピー・スマイル（米）推進事業」及び、妊産婦に対して、妊娠期に5万円、出産後に5万円を支給する「出産・子育て応援給付金事業」を開始した。

このような子育て支援施策との整理を行う中で、本要綱に基づく事業については、実施を見送る判断をした。

問 国の出産・子育て応援給付金は国の事業であるが、市独自の支援は。

健康福祉部長 子育て家庭を支援するとともに、幸手市の経済の活性化を図ることを目的に、未就学児1人につき2万円のデジタル商品券を配布する「子育て応援ハッピーギフト事業」を実施している。

問 申請が必要で期限が設けられているが。

健康福祉部長 申請状況については逐一確認をし、SNSやホームページでの周知に加え、申請が上がってきてない方に関しては、改めてはがきを通知し、限りなく、対象で申請を希望する方が100%申請できよう努力する。



一般質問

まちの活力



みやざわ たいち
宮澤大地



若い力はまちの活力

問 人口減少や若年層の流出が課題となる中、若者が幸手市に住み続け、戻ってきたいと思える環境づくりが必要。住宅取得支援、就労支援、奨学金返還支援について、市の考えを伺う。

総合政策部長・建設経済部長 住宅所得への直接的な資金助成などもひとつの方法であるが、子育て世代の流入が続く中、学校給食費無償化など多様な取組を着実に積み重ねていく。就労支援では、ふるさとハローワーク幸手や商工会等と連携し、市内企業の情報発信や若者とのマッチング強化に努める。奨学金返還支援は、国や他自治体の動向を踏まえ調査研究を進めていく。

問 権現堂公園で開催された

若者支援の充実 は？

答弁 多面的に推進・研究していく

「幸手スカイランタンまつり」には多くの来場者があり、若い世代の発想や行動力が、まちのにぎわい創出につながることを実感した。青年団体の活動を後押しするため、市が伴走して支援する考えはあるか。

建設経済部長 若い感性とエネルギーによる本事業への取り組みを評価し、既存補助金の活用のほか、PR協力や他団体との橋渡しなど、活動を後押ししていく。



幸手スカイランタンまつり

財産の貸付



さかもと たつお
坂本達夫



旧香日向小校舎の賃 借契約の見直しは

答弁 平成25年議会で減額承認された内容で対応

平成25年第一回議会、旧香日向小学校の土地建物の賃貸借料を10分の1に減額し、看護学校理事長に貸付ける議案が市長から提案され、議会はこれを承認した。

問 本来の一年の賃貸料は。

減額後の一年の賃貸料は、減額した一年の賃貸料は。

市長 本来の一年の賃貸料は

2476万4628円。

減額後の一年の賃貸料は、

247万6462円。

減額した一年の賃貸料は、

2228万8166円。

問 平成25年4月1日から令和8年3月31日までの13年間で減額した賃貸料の累計はいくらか。

市長 13年間の累計は、2億8

974万6158円。

問 市長は市民に対し、令和8

年4月から下水道料金、国民健康保険税を値上げし、10月からは水道料金の値上げである。市民の生活は非常に苦しい。一方看護学校に対しては、賃貸料を大幅に減額している。市長はこの賃貸借契約を見直すべきではないか。

市長 現在の土地建物賃貸借契約のとおり履行していく。



看護学校全景(旧香日向小校舎)

一般質問

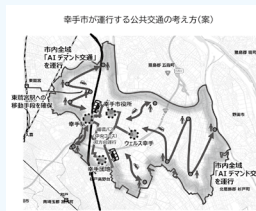
新・公共交通



まつだ まさよ
松田 雅代



問 運行開始前の利用者の掘り起こしが重要。住民への乗り方教室・試乗会実施、子どもの塾・習い事活用拡大、デマンド登録の丁寧な説明、モニター制度活用など、これまでに以上の対策準備を提案する。



R 9年から運行する市公共交通

市民生活部長 さらに丁寧な周知手法を検討する。

問 香日向地域の移動課題は依然大きい。東鷲宮駅へのアクセス対策の進捗・課題は。

市民生活部長 幸手看護専門学校の送迎バス回送便活用を協議中。地域に丁寧な周知し活用実績を積み上げて検証する。

問 法定協等の体制拡充必至。

市民生活部長 必要性を認識。今後、協議体への有識者や新たな主体の参加を検討する。

指標「市民満足度70%達成」に向けた具体策は

答弁 利用者拡大、通勤通学・朝夕運行も継続的に検討

県倉松川改修で、志手橋はどう再デザインされるか

問 志手橋は幸手宿入口のランドマーク。相応しい意匠の再設計を、いつ、だれが、どのように埼玉県に働きかけるか。

建設経済部長 市は歴史的・観光価値を認識。県の詳細設計に合わせ、現意匠の継承・案内看板設置などを検討する。

市長 何を残し何ができるのか。しっかりと検討していく。



街中のランドマーク志手橋

有料スポーツ施設を有する公園

問 安全対策としAED設置を。建設経済部長 利用者の安全確保は必要。貸出制度の案内等に努める。

耕作放棄地



こばやし ひろお
小林 英雄



農園・畑へ外国府間地区で実現

問 私の地元外国府間地区は、農業従事者の高齢化や後継者不足による、耕作放棄地の増加に苦慮していた為、市へ農地活用の対策を要望したところ、ジャガイモ生産とぶどう生産の話が来た。市の担当者が奔走し、私も地元議員として協力し、殆どの地権者に賛同して頂いた結果、2農業法人との事業化が決定し、約13haの農地利用となり、外国府間地区の耕作放棄地はほぼ無くなる。市内には同様に困っている地区が多くあると聞く。農業法人誘致による農地の有効活用について考えを伺う。

市長、建設経済部長 市では、耕作放棄地の増加や担い手不足に悩む地域を対象に、地域外から新たな農業の担い手を誘致し、農地中間管理事業の活用による農地のマッチング支援を実施しています。

ご質問の外国府間地区における取組を成功事例として、他地域への水平展開が図られるよう、引き続き、農業法人等の誘致を通じた耕作放棄地の解消など、農地の有効活用の推進に向けた取り組みの強化・拡充に努めて参ります。



一般質問

涼める場

こいずみけいじ
小泉 圭司

安心して過ごせる

居場所づくり

答弁
公民館等を涼み処に

問 近年の光熱費高騰により冷房使用を控える家庭もあると考えられることから、熱中症対策として公民館などの公共施設をクールオアシスとして活用していくことが重要である。部屋を借りていない場合でも利用できるのか。また、市民への周知について市の考えを伺う。

健康福祉部長 公民館等の公共施設及び民間施設を「涼み処さつて」として指定している。暑さを避けて一時的に休憩できる場所として開放しており、市ホームページや広報紙、施設へのステッカー掲示などにより周知を行っている。

問 公共施設は部屋等を貸すだけの施設ではなく、誰もが気軽に立ち寄って安心して過ごせる居場所としての機能も重要である。給水環境の整備や交流できる環境づくりについて市の考えを伺う。

教育部長 全ての公民館に誰でも

利用できる椅子を設置している。
総務部長 給水環境については自動販売機を基本としているが、相談があった場合には災害用備蓄水で対応している。
健康福祉部長 今後も市民が熱中症を防ぐために休憩できる場所づくりについて検討していく。

学校跡地予約の周知を

問 学校体育館等の利用者からは、廃校後の予約方法に不安の声がある。今後の周知について伺う。
教育部長 詳細が決まり次第、利用団体へ情報提供していく。



涼み処さつてステッカー

外国人共生社会

おがわらひろかず
小河原浩和

急速に増加する外国
人居住者の対応は

答弁
関係団体と連携し多文化共生施策を推進

問 外国人住民登録者数の5年間の推移は。

市民生活部長 令和4年3月末1143人から令和8年3月末1853人へと710人増加。

問 増加が顕著な国は。

市民生活部長 ベトナム212人、インドネシア101人、カメルーン58人、ガーナ57人の増加。

問 在留資格別では。

市民生活部長 特定技能、技能実習、技術・人文知識・国際業務の方の増加が顕著。

問 地域住民との生活習慣等の

摩擦発生の報告は。

市民生活部長 ごみ捨てのルールが守られていないや、ごみの保管方法などの報告がある。

問 問題解決に市の対策は。

市民生活部長 外国語版のチラシ・ガイドを配布したり、国際

理解や地域における共生社会形成のための施策に取り組んでいる。

問 外国人の国民健康保険税の前払い制度導入は。

市民生活部長 導入していない。

問 外国人の生活保護受給者数は。

健康福祉部長 受給者数513名中外国人は6名である。

問 学校での宗教的配慮を有する外国人への対応は。

教育部長 食事制限や服装、礼拝など配慮を要する児童生徒が在籍し、学校生活に支障のない範囲で対応している。



一般質問

包括的性教育



よつもと な お み
四本奈緒美



問 本市は昨年度「生命（いのち）の安全教育」を実施し、今年度は「包括的性教育」に取り組む。どの様に実施をしていくのか。

教育部長 文科省が作成の「生命（いのち）の安全教育」教材を一層活用し、性教育は生きる教育の根幹と捉え、児童生徒が自他を尊重し、安全に行動できる力を身に付けるため、発達段階に合わせ指導をしていく。

問 昨年開催し好評だったユースクリニクの連続開催は。

総務部長 担当部局、医療、大学関係者や財源も含めて前向きに検討をしていきたい。

妊産婦・乳幼児の専用避難所

問 妊産婦や乳幼児は、災害時には、福祉避難所受け入れ対象の要支援者か。

災害時の母子専用避難所の整備は

答 弁 母子が安心して避難できる環境は必要

市民生活部長 その通り。

問 全国では災害時の「母子専用避難所」の整備が進んでいる。一般避難所では声を上げづらい妊産婦や乳幼児が安心して避難生活を送ることが出来る「母子専用避難所」の整備を、大学との包括連携や関係機関と連携しながら進めていくべきである。

市民生活部長 母子専用の福祉避難所の必要性は認識している。母子が安心して避難できる環境を検討していく。



避難所開設訓練（幸手小学校）

アスベスト飛散防止



おおひら たい じ
大平 泰二



問 令和6、7、8年度（途中）に行われた市内解体工事の実態について伺います。解体工事は事前（着工7日前）に届出が必要だが届け出があった件数について（アスベスト含む）また、周辺住民への周知や無届けで解体工事を行った業者への行政指導と処分について伺う。

建設経済部長 建設リサイクル法の届出件数は、令和6年度43件（うちアスベストを含む工事18件）、令和7年度55件（うち13件）、令和8年度5月20日時点10件（うち1件）である。解体施工者には、周辺住民への丁寧な説明と適切な工事をするよう指導している。また、実施状況の報告を求め、収集した情報及び報告内容に基づき、取るべき措置を検討する。

アスベスト飛散防止対策について



一般質問

アフタースクール規模縮小



えだくぼきはちろう
枝久保喜八郎



アフタースクールの規模の縮小について

問 アフタースクールは、平成27年から幸手市独自の学力向上補助制度として始め、この予算を本年は前年の額から870万円も減額して630万円としました。

近隣では隣県の境町で実施しているだけの特徴的教育システムを減退させることは、教育は街の未来を明るくする根幹行政であるという格言に逆行するものであり、状況が理解できません。

これまでの数値的效果検証と保護者、児童本人、講師等関係者の声、さらには今回の予算措置を減額減退させた理由を伺います。

教育長、教育部長 効果検証については、算数の問題における平均達成率は10%向上し、学期が進むにつれて高くなる傾向で

す。また、児童は学習内容が「分かるようになった」と肯定的な高い評価が多く、保護者や教職員からも、肯定的な、そして前向きな高い評価が多数を占めています。

このように、さってアフタースクールは、学校と連携を図り、多様な児童一人一人に応じた学びを展開する極めて有意義な事業です。厳しい財政状況で、市全体として、事業の見直しが求められており、本事業も限られた財源の中で、実施方法等を検討し、事業規模を見直して実施しています。



避難行動要支援者



ほんだ ようこ
本田 謡子



避難行動要支援者（災害弱者）の命を守れ

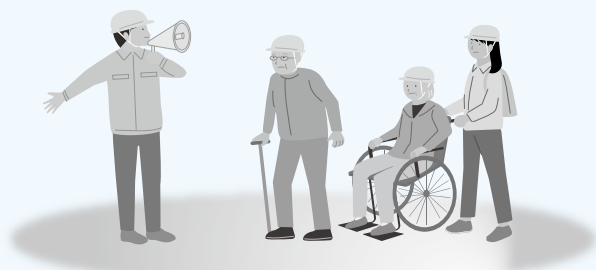
問 先日の台風6号やいつ起こるかわからない地震に対し、災害弱者と言われる避難行動要支援者の命を守ることは、最大の課題と感じます。そこには、一人で避難所へ行けない高齢者が多いことを知ってください。

また、避難についても一般の方々より先に避難する高齢者や障害のある方に対し、準備は万全なのか。そこから二次避難と言われる福祉避難所への移動についてスムーズな対策が構築されているのかを伺う。

市民生活部長 令和6年度から、会場地区の自主防災組織を主な対象として、避難所開設・運営訓練を実施し、受け入れ体制の構築を進めております。

避難所から福祉避難所への移動については、要配慮者本人・ご家族、個別避難計画書で定め

ている避難支援者が行うことが基本となります。避難支援者等が定まっていない方は、避難所に配置された職員・災害対策本部の職員が連携し、民間事業者への手配や埼玉県に協力を要請することを想定しております。



一般質問

安全対策

きむらはる お
木村治夫



問 県は、横断歩道における歩行者優先「KEEP38プロジェクト」を強力に推進しているが、市内の横断歩道・停止線・止まれの路面標示について、消えて見えない箇所が増大する現状である。市の責務である「安全」で「安心」な街づくり、子どもから高齢者の市民が住み続けたい安らぎのある街づくりを強く進めるべき。市として国の対策交付金・企業版ふるさと納税等を活用し、補正予算を編成すべき。また、市長として警察（公安委）等と連携を密にし、県に対し強力に働きかけをすべき。市長の見解を伺います。



消えた横断歩道
（国道四号線北二丁目付近）

答弁 緊急性、安全性を鑑み適切に実施

路面標示が消えて見えない

示の状態は、市民・地域要望等で把握しているが、市としても状況把握のためのパトロール活動を強化する。国からの特別対策交付金等あった場合には、その活用についてはしっかり検討させていただきたいと思います。

議会広報編集委員会 令和7年6月～



※左上の写真をAIにてアニメ風に加工しました

令和 8 年 6 月定例会 提出された議案の結果

公明党…公 市民の幸せをつくる会…幸 自由民主党…自 新緑…緑 日本共産党…共 無所属… (○:賛成 ×:反対 退:退席 欠:欠席)

(幸手市長提出議案)

議案番号	議席番号・議員名 議 案 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	付 託 委員会	議決結果
		高野 優一(無)	小泉 圭司(幸)	宮澤 大地(無)	芦葉 弘志(公)	四本 奈緒美(公)	坂本 達夫(幸)	小林 英雄(無)	枝久保 喜八郎(無)	木村 治夫(自)	松田 雅代(無)	小河 原浩和(緑)	本田 諤子(無)	藤沼 貢(自)	青木 章(緑)	大平 泰二(共)		
議案第25号	専決処分の承認を求めることについて（専決第5号） 幸手市税条例の一部を改正する条例 地方税法の一部改正に伴う所要の改正（令和8年3月31日専決） 軽自動車税環境性能割の廃止に伴う所要の改正等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	賛成全員承認
議案第26号	専決処分の承認を求めることについて（専決第6号） 幸手市都市計画税条例の一部を改正する条例 地方税法の一部改正に伴う所要の改正（令和8年3月31日専決） 改修特別特定建築物に係る課税標準の特例措置のわがまち特例の割合を定める規定の新設その他引用条項の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	賛成全員承認
議案第27号	専決処分の承認を求めることについて（専決第7号） 幸手市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 地方税法施行令の一部改正に伴う所要の改正 （令和8年3月31日専決） 国民健康保険税の減額に係る軽減判定の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	賛成全員承認
議案第28号	幸手市手数料条例の一部を改正する条例 多機能端末機により交付申請する証明書の手数料（コンビニ交付等手数料）の時限的減額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	総務	賛成全員可決
議案第29号	幸手市税条例の一部を改正する条例 地方税法の一部改正に伴う所要の改正 固定資産税の免税点の引上げ、住宅借入金等特別税額控除の適用期限の延長その他所要の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	総務	賛成全員可決
議案第30号	幸手市監査委員に関する条例の一部を改正する条例 地方自治法の一部改正に伴う所要の改正 請求又は要求による監査に関する引用条項の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	総務	賛成全員可決
議案第31号	幸手市手話言語条例 手話の理解及び普及並びに地域において手話を使用しやすい環境の構築に関し、基本理念を定めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	文教	賛成全員可決
議案第32号	幸手市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴う所要の改正 満3歳以上限定小規模保育事業者における連携協力を行う保育所等の適切な確保、満3歳以上限定小規模保育事業の設備及び職員の基準の規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	文教	賛成全員可決
議案第33号	幸手市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴う所要の改正 満3歳以上限定小規模保育事業の利用定員等の規定の整備その他所要の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	文教	賛成全員可決
議案第34号	幸手市水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例 地方自治法の一部改正に伴う所要の改正 議会の同意を要する賠償責任の免除に関する引用条項の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	建設	賛成全員可決
議案第35号	市道路線の認定について 上高野地区土地改良事業区域内の都市計画道路杉戸幸手栗橋線を整備するにあたり、市道路線として認定するため、この案を提出するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	建設	賛成全員可決
議案第36号	工事請負契約の締結について 東中学校校舎増築工事（建築）の請負契約の締結にあたり、地方自治法第96条第1項第5号の規定により議会上程するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	賛成全員可決
議案第37号	令和8年度幸手市水道事業会計補正予算（第1号） 収益的支出補正予定額 20,744千円 補正後収益的支出予定額 1,190,751千円 資本的支出補正予定額 658千円 補正後資本的支出予定額 916,344千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	建設	賛成多数可決
議案第38号	固定資産評価員の選任について 地方税法第404条第2項の規定により、その選任について議会の同意を得るもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	賛成全員同意
議案第39号	裁判上の和解について 損害賠償請求事件における裁判上の和解	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	文教	賛成全員可決
議案第40号	令和8年度幸手市一般会計補正予算（第1号） 補正予算額 20,135千円 補正後予算額 20,330,135千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	賛成全員可決

※議長は表決に参加しないため、「—」となっています。

幸手市 地域おこし協力隊



いちかわ ともあき
市川 智章さん



農業分野の担い手不足解消を図るために始まった「地域おこし協力隊」。初めて香囀されました市川智章さんに、インタビューしました。

野菜作りをはじめたきっかけは 子どものころから野菜が苦手だったんですけど、調理師専門学校を卒業して、飲食店で働いていたとき、とてもおいしい野菜に出会いました。その野菜を作る農家さんとお話するあいだに、私もぜひ、野菜を作りたいと思ったのがきっかけです。

なぜ、幸手の協力隊に 千葉県出身ですが、幸手市内のドッグカフェによく来ていたんです。そこで、たまたまですが、この募集を知り、野菜を作りたいという思いと重なり、応募しました。そして、協力隊に選んでいただき、晴れて幸手市に、移住してまいりました。



これまで、どんな活動を 令和6年10月に協力隊になり、J A埼玉みずほ「さくらファーム」での基礎研修から始まり、市内生産者のもとでの農作業のお手伝いや野菜の試験栽培を行っています。最近では、児童との調理実習や収穫体験、幸手産野菜を使った犬のおやつの開発などにも取り組んでいます。また、様々なイベントに出店し、犬のおやつや収穫した野菜の販売もしています。

今後の予定は 今、農地をお借りして様々な種類の野菜の栽培にチャレンジしていますが、独立就農を念頭に、野菜の安定生産を目指していきたい。そして、直売所への出品や、様々な飲食店においておいしい野菜の提供などを行っていきたい。もっと幸手のおいしい野菜を広めていきたいですね。

そして、「幸手市の皆さん、本当に温かい人ばかりで、ぜひ、私に続いて、多くの人に幸手市に来ていただきたい。」とPRしてまいります。



議会広報編集委員

委員長	青木 章
副委員長	四本 奈緒美
委員	高野 優一
委員	小泉 圭司
委員	宮澤 大地
委員	芦葉 弘志
委員	木村 治夫
委員	松田 雅代
委員	小河原 浩和

編集後記

今号から幸手市議会広報「市議会だより さつて」は、紙面をリニューアルしました。市民の皆様には議会をより身近に感じていただき、議会の活動を分かりやすくお伝えしたいとの思いから、議会広報編集委員会で検討を重ね、先進自治体の取り組みも参考にしながら、写真も多く取り入れ、市民の皆様にも参加いただき、見やすく親しみやすい紙面づくりを進めてまいりました。ご覧いただきましたご意見やご感想を、議員や議会事務局にぜひお寄せください。皆様の声を大切にしながら、読みやすく信頼される議会広報を目指してまいります。

市議会だより
バックナンバーは
コチラ↓

